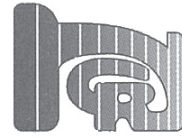


フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.johas.go.jp/>



年始のご挨拶

院長 佐藤 啓二

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により世界中で甚大な被害が発生しましたが、年が明けても同ウイルス感染症は猖獗を極めております。

当院では、6月8日より全身麻酔を用いて手術を受ける患者さんに対して、予めLAMP法によるコロナウイルス遺伝子検査を実施しておりますが、全身麻酔を用いない手術についても同様の検査を実施する準備を進めております。新たに12月より外来受診時におけるコロナ感染対策を取らせていただくこととしました。朝7時45分に病院玄関扉を開けることとした為、朝早くから来院される患者さんには大変ご面倒をおかけしております。また「発熱している受診者」と「発熱していない受診者」の動線が交わる事を極力避けるために、病院に入る経路を限定し、入口で体温測

定を行い、37.5度以上の患者さんはホスピタルラウンジで振り分けさせていただくこととしました。さらに発熱外来を設けPCR検査を含めて対応できる体制構築を進めております。

名古屋市内においては、令和2年12月よりコロナ対策二次三次病院輪番制が施行されています。当院は同年12月に3回担当し、令和3年1月に3回、2月に2回担当する事になっています。

PCR検査にて陽性となり、入院治療が必要となった患者さんに対応できるよう、職員一同感染対策に努力しております。

ワクチン接種によって、新型コロナウイルス感染症の終焉が迎えられますよう祈りつつ、皆様のご協力を得て、難局を乗り越えたいと思っております。今年も宜しくお願いいたします。

今月号のお知らせ

- ① 年始のご挨拶……………院長 佐藤 啓二
- ② 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺疾患の感染予防について
…………慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山内 美樹

- ③ サーモグラフィ導入による検温の実施について
……………医事課長 内村 一郎
- ④ 令和2年度 患者満足度調査の結果について
病院からのお知らせ

看護師



慢性閉塞性肺疾患（COPD）、 間質性肺疾患の感染予防について

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山内 美樹

慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺疾患、肺炎、喘息、結核等の慢性呼吸器疾患の方は一般的にウイルスに感染しやすいと言われており、特に新型コロナウイルスに感染すると重症化の恐れがあります。

慢性閉塞性肺疾患（以下COPD）とは、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれる病気の総称です。

タバコの喫煙や大気汚染等有害物質を長期に吸入することによって、空気の通り道である気管支や酸素と二酸化炭素のガス交換を行う肺胞（ブドウの房状の小さな袋がたくさん集まってできており、そこでガス交換が行われる。）が炎症により破壊される病気です。この病気を患っている方の約90%は喫煙歴があるといわれています。40歳以上の人口の8.6%、約530万人の患者が存在すると推定されていますが、未治療の方が大多数を占めています。症状としては、歩行時や階段昇降など、身体を動かした時に息切れがあり、慢性的にせきやたんがみられます。

間質性肺疾患とは、膠原病や感染症、薬剤、放射線など様々な原因により、酸素や二酸化炭素のガス交換を行う肺胞の壁に炎症が起こることによって、壁が厚く硬くなり（線維化）

酸素を取り込みにくくなる病気です。原因不明のものは、特発性間質性肺炎と総括されます。この特発性間質性肺炎は、間質性肺疾患のなかでも80~90%と最も多く、50歳以上の男性に多くみられ、そのほとんどが喫煙者であるといわれています。症状としては、無症状が多く、病状が進行してくると、動いた時の息切れや乾いたせきを自覚します。

COPD、間質性肺疾患とも、ウイルスや細菌による感染をきっかけとして急激に症状が悪化することがあります。特に特発性間質性肺炎の場合、致死率の高い状態になることがあるため感染予防が必要となります。感染予防のために、日常の手洗い、うがい、外出時はマスク装着を徹底し、人ごみの場所はなるべく避けましょう。ウイルスへの抵抗力をつけるため、十分な睡眠と栄養をとり、無理のない範囲での運動も大切です。また、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種を受けておくことが推奨されています。COPDの場合は発熱や、膿のような黄緑様のたんが増えたり、息苦しさやせきが増えたといった症状がみられたら、間質性肺疾患の場合はせきが増え、息苦しさの症状が強くなる場合は早めに受診をしましょう。

医事課

サーモグラフィ導入による 検温の実施について

医事課長 内村 一郎

当院では昨年12月1日から感染拡大防止対策として、一般の方の病院への入口を正面玄関一か所に制限させていただき、併せてサーモグラフィによる検温と手指消毒をお願いしているところです。

サーモグラフィの導入については、当初店舗等に設置されている小型の機器も検討いたしました。医療機関でもあり一定以上の精度が求められること、また来院される方にはご高齢の方や車いすの方も多数いらっしゃることを踏まえて、高精度かつ視覚的にも分かり易い大型モニター付きのカメラを導入することといたしました。

設置したサーモグラフィは、測定時間が0.1秒（カタログ値）と速く、カメラの前を歩いて通過と同時に測定することが可能です。冬場のこの時季は外気温が冷たく、体表温度が低く測定されることもあります。37.0℃以上となった場合はアラームが表示されるよう

に設定されております。その際には職員が改めて体温計で検温を実施させていただきます。なお、正確な測定を実施するために、発熱症状や風邪症状のある方はサーモグラフィ検温の前に職員にお申し出ください。

また、今回の検温実施に併せて正面玄関の開門時間を7時45分に変更いたしました。ご予約されている方は、診察予約時間に合わせたご来院をお願いいたします。

今回の入口制限等につきましてご不便等をおかけいたしますが、感染拡大防止のため皆さまのご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。



令和2年度 患者満足度調査の結果について

患者サービスの向上を目的として、各診療科の外来前でアンケートを配布し、ご来院された患者さんにご記入いただきました。アンケートの内容は「1. 不満」から「5. 満足」までの5段階評価で、「患者満足度」を調査するものです。今回愛知県のコロナ感染者状況を考慮して、外来調査を1日短縮して実施しました。

【実施日】 外来調査 10/15 (木) 入院調査 10/6 (火) ~11/2 (月)

【方 法】 外来・入院患者にアンケートを配布。

【結 果】

●外来の満足度 (前年度比)		●入院の満足度	
診療面全般について	84.8% (+10.2)	診療面全般について	95.1% (+1.2)
接遇面全般について	82.2% (+ 6.9)	接遇面全般について	94.6% (+3)
診察室等環境面について	79.5% (+9.2)	病室環境面等全般について	84.4% (+5.2)
設備について	78.4% (+16.7)	院内設備面全般について	80.7% (-3)
総合評価	87.6% (+8.4)	総合評価	91.9% (-1.6)

★満足度とは？

無回答を除いた全体に占める「4. やや満足、5. 満足」と回答した者の割合。

外来の満足度については、昨年度と比べて全体的に高い点数をいただくことが出来ました。特に設備については16.7%満足度が上昇しました。入院の満足度については、院内設備全般が3%減という結果でしたが、総合評価は90%台を維持しました。

この度いただいたご意見等につきましては、改善に向け努めてまいります。コロナ禍の中ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

病院からのお知らせ

★糖尿病週間について ポスター展示を行いました！★

インスリンを発見したバンティング博士の誕生日である11月14日は、世界糖尿病デーです。毎年11月14日が含まれる一週間は、糖尿病週間として世界各国で糖尿病の啓発イベントが行われています。

当院も一昨年はららぽーと名古屋みなとアクルスで盛大に行いましたが、昨年は新型コロナの影響で、11月9日からの一週間、病院入口付近に糖尿病についてのポスターを展示しました。当院の糖尿病サポートチーム（医師、看護師、薬剤師、検査技師、栄養士、理学療法士）による力作です。

今年はららぽーとで開催できることを祈念しながら、力作ポスターの展示に加えて血糖測定や健康相談なども企画して、糖尿病サポートチームで準備してまいります！



当院の理念

納得、安心、そして未来へ

編集後記 現在当院では一般の方の入口を一か所にしぼるゲートコントロールを実施し、新型コロナウイルス感染症防止に努めております。ご不便をおかけしますがよろしくお願いたします。

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供